

地域と関わった商品開発の取り組み

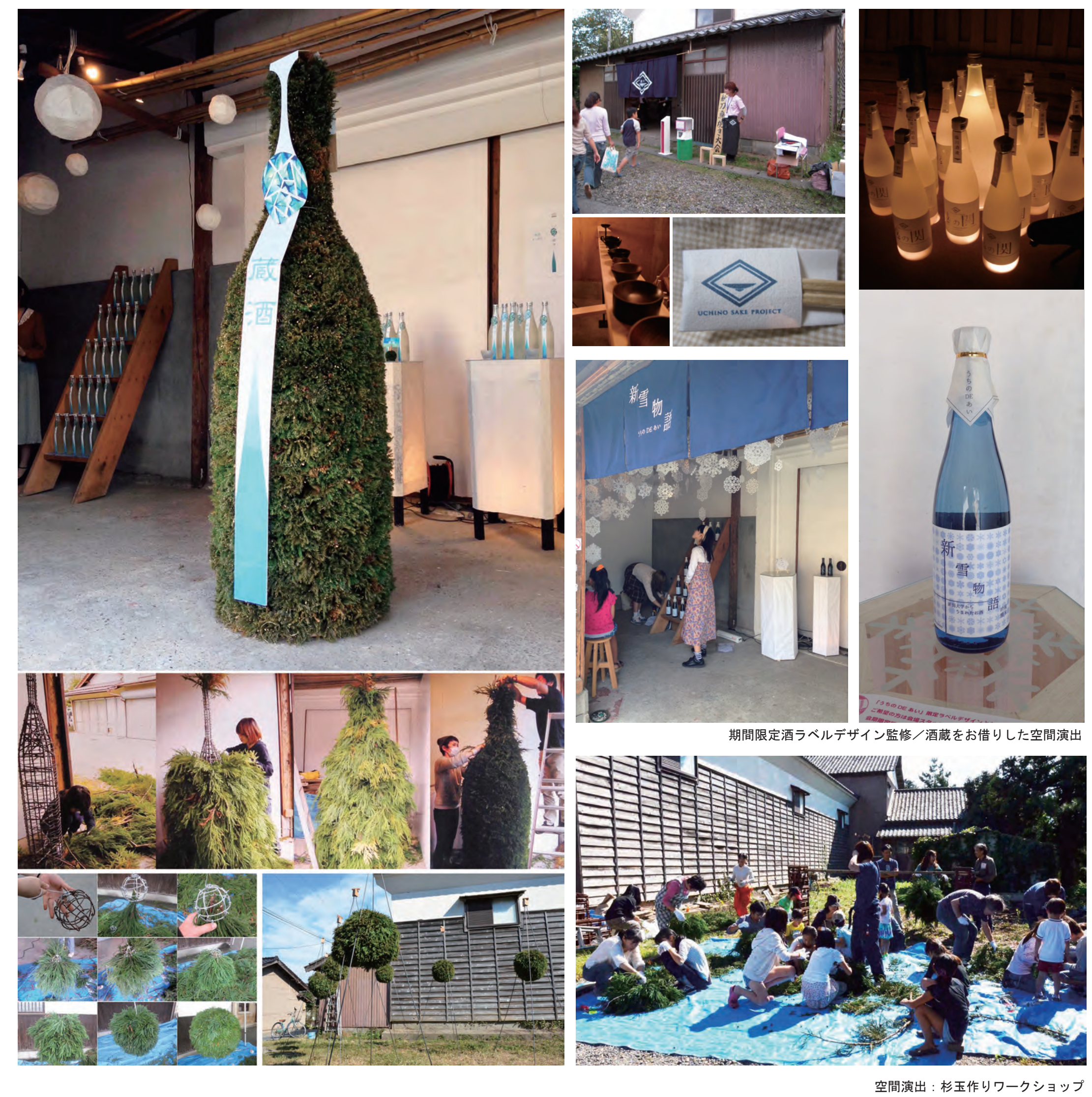
【キーワード】 デザイン表現・空間演出・ブランド開発・地域活性化・造形ワークショップ

■概要 デザイン表現の実践を、実社会と関わりながら進めて来た活動である。地域の活性化を視野にいれ、デザインワークを進めると共に、芸術表現要素を加えた商品展示空間の演出や、地域住民を集め実体験できる造形ワークショップを絡めながら商品ブランドの構築に携わった研究である。

■詳細 ■2007-2015：「UCHINO Sake Project」（新潟市西区 塩川酒造）

新潟市西区内野町の酒造会社と連携したプロジェクト。新商品のラベルデザインや、酒蔵をお借りした空間演出。訪れた鑑賞者や地域の方を対象にした造形ワークショップで構成している。背景には、2001年から動き出した新潟大学教育学部芸術環境講座が主体となった地域連携によるアートプロジェクト「うちのDEアート」の存在がある。連携母体は、新潟市西区・内野町であり、「芸術表現の新たな展開」・「産学官での新たな研究」・「地域コミュニティの再生」を目的としている。

『UCHINO Sake Project』は、地域連携アートプロジェクトとしての企画の一つであり、橋本研究室で取り組んできたデザインプロジェクトである。以下の写真は、プロジェクトの中で商品化されたお酒である。



■2015-2016: 米倉集落でのブランド開発（新発田市米倉集落）

デザインを施す行為では、生産者や作り手、地域と関わる行為から始まると考えられる。本事業では、商品デザインを一方的に提示する行為だけではなく、地域農業振興、とりわけ特産野菜のブランド化、P B清酒の製品化などの取り組みを支援してきた農学部 伊藤亮司教員の研究に寄り添う形で、農産物および加工品の新たなブランド化を視野に入れ、分野横断形の実践研究を行っている。本年度は、「大学生の力を活かした集落活性化プロジェクト」を採択し、ゼミ学生間の交流を深め活動中である。



2015 年、商品化したお酒「よねくらの酒」

2015 年度、提案した米袋デザイン

○競合研究に対する優位性

近隣の内野街で開催して来た地域連携によるアートプロジェクト「うちのDEアート」での15年の活動実績が有り、そこで培った造形表現力・企画運用方法を活用し、複合的なデザインプロジェクトの展開が可能である。

○想定される実施例、応用例

デザイン表現は、幅広いジャンルと関係を持つことが出来る。実践の詳細例では「農産物」「酒」と関わった農学系との連携プロジェクトであるが、新たな地域や企業との関わりから様々な業種との連携も可能である。現在、研究活動領域を広げ、福祉工学の領域にあるリハビリテーション器具のデザインワークや、景観に配慮した産業機械のデザインワークを産学連携による研究として参加している。

○今後の課題、展望

基礎研究と違い、市場に向けての着地点が決まった段階でデザインの必要性を求められる事例が多いが、デザインを表層面の表現と位置するのでは無く、商品企画コンセプトに関わりながら進めてゆくことが望ましい。

□ 広報戦略

：商品を知ってもらう活動や、食する場での提供。

□ 販売方法の戦略

：地産地消のコンパクトな方法から、全国展開に繋げる為の戦略的な活動。
高付加価値商品の希少価値を売りにした販売単価の設定。
手に取りやすい量と、価格の設定。

□ 集落農産物の統一ブランドイメージの確立。

：共通で用いるシンボルマーク
：デザインの統一性
：パッケージ形状や、グラフィックによる差別化。視認度を得る工夫。
：ギフト戦略（優れた商品を軸に、詰め合わせ等による他商品のアピール。
季節ものでの展開）

■本年度の「大学生の力を活かした集落活性化事業」での展開方法

●米倉集落のでの宝物探し

6月25日 集落での連携活動研修会に出席 「有機の里交流センター」
米倉集落のでの宝物探し 集落の散策 古民家の活用例視察
ハウス栽培農園視察（イチゴ、ブドウ） 蛭鑑賞

●集落への提案・実践「学生によるデザイン提案」

7月22日 プロジェクトの広報活動 杉玉のサンプル制作（米倉集落農園）
7月23日 夏祭り プロジェクトの広報ブースの設置
8月24日 地域ブランド戦略会議（合宿研修）
11月下旬 杉林の森資源を用いた造形ワークショップの開催。
市民参加を募った収穫祭のイベントの実施
1月 地域ブランド戦略会議（商品パッケージデザイン検討）
2月 商品パッケージデザイン検討
3月 商品統一ロゴの制作（完成3月）
試行商品（米袋）のパッケージデザインの提案（完成3月）

■応用を期待する分野

新潟大学の総合大学としての利点を活かし、農学分野や工学分野と連携した研究活動を行っているが、更に踏み込んだ分野横断形の活動が増えることを期待する。